

UNIVERSITY OF THE RYUKYUS GUIDE 2025



琉球大学
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

琉球大學大學介紹



CONTENTS

關於琉球大學

琉球大学について . . . 1

學院介紹 学部紹介 . . . 2

研究所紹介

大学院紹介 . . . 9

留學資訊 1

留学情報 1 . . . 20

留學資訊 2

留学情報 2 . . . 24

國際交流

国際交流 . . . 27

沖繩縣簡介

沖縄県の紹介 . . . 30

校區地圖

キャンパスマップ . . . 31

關於琉球大學

琉球大学について

琉球大學位於日本國最南端的沖繩縣，為沖繩縣內唯一的一所綜合性大學，共有7個學院和9個研究所。沖繩縣是位於亞熱帶的島嶼縣市，保有獨自的生態系和別具特色的傳統文化。包括14～16世紀的大交易時代在內，沖繩在歷史上與許多國家交流熱絡，因而成為豐富的多元文化共生社會。為了讓沖繩縣的這種特色能夠傳承以及發展，本校在推展島嶼・海洋環境科學研究、健康長壽科學研究、琉球・沖繩文化研究等在地特色研究的同時，也培養以深厚學養與人性為基，活躍於地區與國際社會的人才。

琉球大學的理念為兼容地區特性和國際性，如今已和包括亞太地區在內的46國・地區142所大學簽訂國際交流協定，有許多來自世界各國的留學生在本校就讀。

琉球大学は、日本最南端の沖縄県に位置する県内唯一の総合大学で、7学部9研究科があります。沖縄県は亜熱帯に位置する島嶼県であり、固有の生態系と特色ある伝統文化を有しています。14～16世紀の大交易時代は言うまでもなく、多くの国々と盛んに交流してきた歴史があり、豊かな多文化共生社会となっています。このような沖縄県の特色を継承・発展させるために、本学は島嶼・海洋環境科学研究、健康長寿科学研究、琉球・沖縄文化研究などの地域特性を活かした研究を推進するとともに、深い学識と豊かな人間性をベースに地域及び国際社会で活躍できる人材を育成します。また地域特性と国際性を併せ持つ大学を理念に、アジア・太平洋地域を始め、現在、46カ国・地域142大学・機関との国際交流協定を締結しており、世界の国々から多くの留学生が琉球大学のキャンパスで学んでいます。

7 學院 学部

人文社會學院
人文社会学部

國際地區創造學院
国際地域創造学部

教育學院
教育学部

理學院
理学部

醫學院
医学部

工學院
工学部

農學院
農学部

9 研究所 大学院

人文社會科學研究所
人文社会科学研究科

地區共創研究所
地域共創研究科

教育學研究所
教育学研究科

醫學研究所
医学研究科

保健科學研究所
保健学研究科

理工學研究所
理工学研究科

農學研究所
農学研究科

法務研究所
法務研究科

鹿兒島大學研究所聯合農學研究所
鹿児島大学大学院連合農学研究科

人文社會學院

人文社会学部



人文社會學院提供以，法學、政治・國際關係學、哲學・心理學、社會學、以琉球及亞洲為中心的歷史學、文學、語言學等教育課程。本學院以人文社會科的跨領域專門研究為背景，學生可得到「批判性思維能力」、「深度知識」、「思考能力」和與地區及國際社會共享努力成果「素養」之機會。

本學院之教育方針的核心為，「和平教育」、「構建和諧社會」和「沖繩研究」。目標為，培養具有在 21 世紀生存能力的全球公民，包括尊重個人尊嚴和人權，促進和平和對沖繩社會的理解，以及為我們星球的可持續性作出貢獻能力的國際市民。學生能自己「發現」問題並及時找出屬於自己獨特和創新的解決方案之能力。在本學院的以下各個學科、課程中都備有培訓這些能力的教育「設計」。

人文社会学部は、法学・政治学・国際関係学、哲学・心理学・社会学、琉球・アジアを中心とした歴史学・文学・言語学などの教育プログラムを提供しています。教員が取り組む人文社会系の専門的、学際的な研究を背景に、学生は「批判的思考力」、「深い知識」、「発想力」、そして地域や国際社会で取り組みを共有するための「リテラシー」などを身につける機会を得ることができます。

本学部では、「平和教育」「共生社会の構築」「沖縄学」を教育方針の中核に据えています。個人の尊厳と人権の尊重、平和の促進と沖縄社会への理解、そして地球の持続可能性に貢献する能力など、21 世紀を生き抜くためのスキルを備えたグローバル市民を育成することを目指しています。学生が重要な課題を「発見」し、その課題の「解決」に、タイムリーで革新的な解決策を持って「取り組む力」を培ってもらおうということです。本学部は、そのための様々な教育的「仕掛け」を、以下の学科・プログラムの構成の中に埋め込んでいます。



學系 学科	課程・領域名稱 講座・分野
國際法政學系 國際法政学科	●法學 法学 ●政治・國際關係學 政治・国際関係学
人類社會學系 人間社会学科	●哲學 哲学 ●社會學 社会学 ●心理學 心理学
琉球亞洲文化學系 琉球アジア文化学科	●歷史・民俗學 歴史・民俗学 ●文學 文学 ●語言學 言語学

國際地區創造學院

國際地域創造学部



培育能以全球化視野來振興產業、地區及文化，並具有解決多元化地區課題之實踐能力的人才。

本學院、透過跨領域的學習（包括觀光、管理、經濟、文學語言、地理歷史人類學等複合領域）和各專業領域的系統性學習，培訓學生的「專業基礎能力」與「地區國際基礎能力」，使其能挑戰及充分對應複雜化、多樣化之國際及地區課題的能力。

國際地域創造学部の教育目標は、グローバルな視野を持ち、産業、地域及び文化の振興と多様化する地域課題の解決を担う実践的な能力を有する人材を養成することです。

本学部では、複合分野（観光、経営、経済、文学・言語、地理・歴史・人類学）の学際的学び及び各専門分野における体系的な学びを通して、「専門基盤力」と「地域国際基盤力」を身に付け、複雑化・多様化する国際及び地域的課題に挑戦し、解決する高い専門能力を養成します。

學系 学科	領域・課程名稱 分野・プログラム
國際地區創造學系 國際地域創造学科	●觀光地區設計 観光地域デザイン ●管理 経営 ●經濟學 経済学 ●國際語言文化 国際言語文化 ●地區文化科學 地域文化科学



教育學院

教育学部



教育學院的「學校教育教師培育課程」，是以培育小學，中學及特殊教育學校的教師為主的課程。修畢本課程者，能取得「小學第一種」，或者「特殊教育學校一種」教師執照。

本學院十分注重「在地教育」，所以相當重視應用「在地教材」的科目。為達到「融合理論與實踐、提升實踐能力」之目的，本學院導入眾多教育現場的課程，也鼓勵學生從事教育現場的志工活動。藉此來培育畢業後即可教課與指導學生的教師。並且畢業後活躍於沖繩縣及各地的教育界。

教育学部の学校教育教員養成課程では小学校と中学校、特別支援学校の教員を養成します。この課程の修了者は小学校一種の教員免許状、中学校一種の教員免許状、特別支援学校一種の教員免許状のいずれかを取得します。本学部では地域に根ざした教育を展開し、地域の教材研究に基づいた教科の指導にも力を注いでいます。また、理論と実践の融合及び実践力の向上を目的に教育現場での授業を多く取り入れ、ボランティア活動を推奨しています。これらの取り組みにより卒業と同時に教科教育と生徒指導が可能な教員を養成しています。卒業後は沖縄県をはじめ出身地の教育界で活躍しています。

學系 学科	課程・領域名稱 講座・分野
教師培育課程 学校教育教員養成課程	●國語教育 国語教育 ●理科教育 理科教育 ●保健體育 保健体育 ●英語教育 英語教育 ●社會科教育 社会科教育 ●音樂教育 音楽教育 ●技職教育 技術教育 ●學校教育 学校教育 ●數學教育 数学教育 ●美術教育 美術教育 ●生活科學教育 生活科学教育 ●特殊教育 特別支援教育



理學院

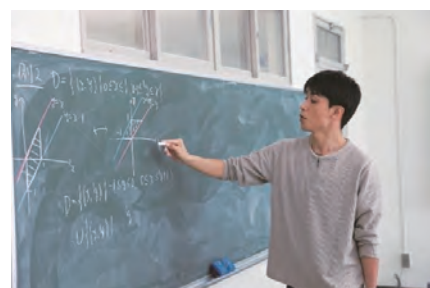
理学部



理學院有數理科學系、物質地球科學系、海洋自然科學系等 3 學系。而在教育研究領域則有自然科學全領域基礎——數學（數理科學系）、物理與地球環境（物質地球科學系）、化學與生物（海洋自然科學系）等 5「學科」。

理學院以 5 學科為單位招生。同時也嘗試調低專業學科的「門檻」高度。由所有教師帶領 1 年級學生，實施 5 人 1 班制之基礎研討班，並設立理學院共通科目。課綱中特別安排師生對話型的課程，以利於培養廣泛理學基礎學養。

理学部には、数理科学科、物質地球科学科、海洋自然科学科の3学科があります。教育研究分野は自然科学の全分野の基礎をカバーする数学（数理科学科）、物理と地球環境（物質地球科学科）、化学と生物（海洋自然科学科）の5つの「系」から構成おり、系別に学生募集を行っています。同時に、専攻する系の「しきい」の高さを低くするように工夫しています。1年生では5人1クラス（生物系は6～7人1クラス）で受講する基礎ゼミを全教員で実施したり、理学部の学生であれば誰でも受講可能な理学部共通科目を設けたり、先生と対話しながら進められる授業を展開したりなど、幅広い理学の基礎教養を身につけやすいように独特の工夫がなされています。



學系 学科	課程・領域名稱 講座・分野
數理科學系 数理科学科	●基礎數理學 基礎数理学 ●資訊數理學 情報数理学 ●數理分析學 数理解析学
物質地球科學系 物質地球科学科 (物理科 物理学) (地球環境系 地球環境系)	●粒子物理學 素粒子物理学 ●數學物理學 数理物理学 ●固態物理學 固体物理学 ●地球化學 地球化学 ●天體物理學 宇宙物理学 ●凝聚態物理學 凝縮系物理学 ●氣象學 気象学 ●地震學 地震学 ●古生物學 古生物学
海洋自然科學系 海洋自然科学科 (化學科 化学系) (生物科 生物系)	●分子功能化學 分子機能化学 ●海洋化學 海洋化学 ●熱帶生命功能學 熱帯生命機能学 ●海洋生物生產學 海洋生物生産学 ●分析化學 解析化学 ●進化及生態學 進化・生態学

醫學院

医学部



醫學院之教育目的在於，培養具備醫學及保健學之相關專業知識、高度倫理，並能靈活應對日新月異的醫學・醫療技術進化之醫師、保健・醫療技術人員以及研究人員。

並且，藉於沖繩縣所具有的自然、地理以及歷史特性，本學院除了致力於構築「適應島嶼環境之自給自足型醫療體系」等具地區特性的醫療、保健等課題外，且以發展成為國際化之醫學院，促進以亞洲・南太平洋地區為中心之國際學術交流，及提供保健和與醫療協助為目標。

医学部は、医学と保健学に関する専門の知識と技術を修得し、高い倫理性を身につけ、医学・医療の進歩や社会的課題に柔軟に対応しうる医師、保健・医療従事者、及び研究者を育成することを基本目的としています。加えて、沖縄県の置かれた自然的、地理的及び歴史的特性をふまえて、島嶼環境における地域完結型医療の構築など地域特性に根ざした医学・医療の課題解決に努めると共に、アジア・南太平洋地域を中心とする国際的な学術交流及び保健医療を展開する医学部を目指しています。

學系 学科	課程・領域名稱 講座・分野
醫學系 医学科	請參考醫學研究所的頁面 第 12 頁 医学研究科のページ (p12) を参照
保健科學系 保健学科	●基礎護理學 基礎看護学 ●成人・老年人護理學 成人・老年看護学 ●母子護理學 母子看護学 ●地區護理學 地域看護学 ●生物檢驗學 生体検査学 ●病情檢驗學 病態検査学



工學院

工学部



工學院以1學系7課程的優勢，設計了跨領域的課程體系，旨在培養具備應對社會需求的基礎學力和專業技術、擁有廣泛視野和實踐能力的學生。此外，包括研究所博士前期課程在內的6年一貫教育的全球工程師計畫（GE計畫）致力於培養能夠在國際上做出貢獻的高度專業技術人才。從大三開始，學生將學習「研究所科目」、「技術英語」、「國際實習」、「留學」等系統化的專業課程。工學院以引領地區產業，為製造業、能源、資訊與通信科技、建築、環境、防災、電力等行業創造新價值，培養能夠應對社會全球化的人才為目標。

工学部は、1学科7コース制の強みを活かした学際的なカリキュラム体系により、社会のニーズに対応できる基礎学力と専門技術力、幅広い視野と実践力を身につけることを目的としています。また、大学院博士前期課程を含む6年一貫教育のグローバルエンジニアプログラム（GEプログラム）は、国際的に貢献できる高度専門技術者を養成します。3年次から「大学院科目」や「技術英語」、「国際インターンシップ」、「留学」など体系化された専門カリキュラムを学びます。工学部は、地域の産業を牽引し、製造業、エネルギー、情報通信、建設、環境、防災、電力などの産業に新たな価値を創造し、社会のグローバル化に対応できる人材の育成を目指します。

學程名稱 コース名	課程・領域名稱 講座・分野
機械工程學學程 機械工学コース	●材料加工學 材料加工学 ●應用材料力學 応用材料力学 ●流體工程學 流体工学 ●熱力工程學 熱工学 ●機械控制 機械制御
能源環境工程學學程 エネルギー環境工学コース（※）	●能量轉換工程學 エネルギー変換工学 ●流體系統工程學 流体システム工学 ●系統測量 システム計測 ●系統設計 システム設計 ●材料環境學 材料環境学
電子系統工程學學程 電気システム工学コース	●電力工程學 磁気工学 ●等離子工程學 プラズマ工学 ●大氣層電力學 大気電気学 ●電力工程學 電力工学 ●電力系統工程學 電力システム工学 ●電子機械工程學 電気機器工学 ●電力電子學 パワーエレクトロニクス ●生物醫學工程 生体医工学 ●控制及系統工程學 制御・システム工学 ●機器人學 ロボティクス
電子通訊學程 電子情報通信コース	●電子物性工程學 電気物性工学 ●無機及有機電子元件 無機・有機電子デバイス ●VLSI 設計及組合技術 VLSI 設計・組み込み技術 ●通訊技術 情報通信技術 ●資訊處理及分析技術 情報処理・解析技術 ●測量技術 計測技術 ●圖片工程 画像工学 ●光學測量工程學 光計測工学 ●電腦系統結構 コンピュータアーキテクチャ
社會基礎建設設計學學程 社会基盤デザインコース	●社會系統計畫學 社会システム計画学 ●水圈環境工程學 水圏環境工学 ●大地工程學 地盤環境工学 ●結構設計工程學 構造設計工学 ●建設材料學 建設材料学 ●建設資訊學 建設情報学
建築學學程 建築学コース	●建築設計及計畫 建築デザイン・計画 ●都市計畫及地區生活空間 都市計画・地域生活空間 ●環境工程學及建築設備 環境工学・建築設備 ●建築材料、建築施工及建築生産 建築材料・建築施工・建築生産 ●建築構造及耐震工程學 建築構造・耐震工学 ●防災建築工程學 建築防災工学
智慧資訊學學程 知能情報コース	●人工智慧 人工知能 ●智慧機器人 知能ロボット ●物聯網 モノのインターネット ●資訊安全 情報セキュリティ ●無線通訊 無線通信 ●資訊倫理 情報倫理 ●數據科學 データサイエンス ●生物資訊 生体情報 ●人機交互 ヒューマンコンピュータインタラクション

（※）自2026學年度起，「能源環境工程學學程」將更名為「能源機械工程學學程」。

（※）「エネルギー環境工学コース」は、2026年度から、「エネルギー機械工学コース」に名称が変わります。

農學院

農学部

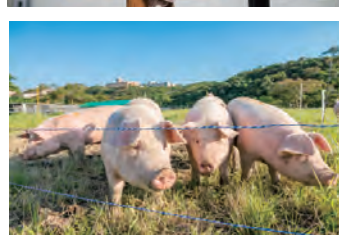


農學院是致力於運用日本國內唯的亞熱帶地區之地理條件，來打造獨具特色的學院，目標在於解決糧食問題、環境問題等規模課題、及地區農業發展之相關課題。本學院是由「亞熱帶地區農業學系」、「亞熱帶農林環境科學系」、「地區農業工程學系」、「亞熱帶生物資源科學系」等 4 個學系所構成。

另外，在農學研究所碩士課程中，設置有「亞熱帶農學組」，以對應大學部的 4 個學系之 4 個課程來進行教育學程，培育高度專業技術人員。除此之外，想成為專業研究人員的學生也可繼續修讀由琉球大學、鹿兒島大學及佐賀大學共同開設之博士課程（鹿兒島大學研究所聯合農學研究所）。

農学部は、わが国唯一の亜熱帯地域に立地している地理的条件を生かして、食糧問題や環境問題など地球規模の課題及び地域農業の発展にかかわる課題の解決を目指す特色ある学部づくりに取り組んでいます。本学部は「亜熱帯地域農学科」「亜熱帯農林環境科学科」「地域農業工学科」「亜熱帯生物資源科学科」の4学科で構成されています。また、大学院農学研究科修士課程には学部の4学科に対応する4コースで教育が行われる「亜熱帯農学専攻」が設置されており、高度な専門技術者を養成する教育研究を行っています。さらに、専門的研究者を目指す学生には、琉球大学、鹿児島大学及び佐賀大学で構成される博士課程（鹿児島大学大学院連合農学研究科）もあります。

學系 学科	課程・領域名稱 講座・分野
亞熱帶地區農業學系 亜熱帯地域農学科	●農林經濟學 農林経済学 ●植物開發學 植物開発学 ●循環畜產學 循環畜産学 ●農林共生學 農林共生学
亞熱帶農林環境學系 亜熱帯農林環境科学科	●植物機能學 植物機能学 ●動物機能學 動物機能学 ●森林環境學 森林環境学 ●生態環境科學 生態環境科学
地區農業工程學系 地域農業工学科	●生物系統工程學 バイオシステム工学 ●地區環境工程學 地域環境工学
亞熱帶生物資源科學系 亜熱帯生物資源科学科	●生物機能開發學 生物機能開発学 ●食品機能科學 食品機能科学 ●發酵與生命科學 発酵・生命科学 ●健康營養科學 健康栄養科学



人文社會科學研究所

人文社会科学研究科



人文社會科學研究所廣收各種背景的學生。

博士後期課程目標在於，構築活用沖繩獨特地理・歷史・文化等條件構建新的學問體系，並推動學術創新。目的在於，培養能併用全球與地區之複眼式視角來分析琉球・沖繩所擁有的課題之高度專業人士與研究學者。此外，人文社會科學研究所也有招收社會人士成為研究生。另設有夜間及周六的課程以因應多元需求。

人文社会科学研究科は様々な背景の学生を受け入れます。

博士後期課程は、沖縄の持つ地理的・歴史的・文化的諸条件を活かした新たな学問体系の構築と学術の創出を目指します。琉球・沖縄をグローバルな文脈におきながら、地域の課題を複眼的な視点から解明していく高度専門職業人と研究者の養成を目的としています。なお、人文社会科学研究科は社会人大学院生も受け入れています。多様なニーズに応えるために、夜間及び土曜日も授業を行っています。

博士後期課程 博士後期課程

主修 専攻	研究領域 教育研究分野
比較地區文化 比較地域文化	●考古學 考古学 ●觀光經濟學 観光経済学 ●溝通學 コミュニケーション学 ●美國文學 アメリカ文学 ●環境文學 環境文学 ●社會人類學 社会人類学 ●沖繩近代文學 沖縄近代文学 ●環境經濟學 環境経済学 ●地理學 地理学 ●政治學 政治学 ●近現代沖繩史 近現代沖縄史 ●特定語言研究 特定言語研究 ●批判性談話研究 批判的談話研究 ●美國太平洋史 アメリカ太平洋史 ●琉球史 琉球史 ●朝鮮文學 朝鮮文学 ●記述語言學 記述言語学 ●歷史語言學 歴史言語学



地區共創研究所

地域共創研究科



地區共創研究所培養擁有對於現今地區社會及國際社會上面臨的多樣的問題進行客觀的理解後，用各自專業的角度去研討出地區現今面臨課題的具體解決辦法，並且針對解決辦法獨立思考後能夠付諸實際行動的高度倫理研究觀念的專家。

本研究所將今日的地區課題分類成 5 種，且針對不同課題提供 5 種學程修習。學生可在各自的專業學程學習到原本在其他專業領域才有提供的課程，使學生能夠進行解決實際社會問題的研究。

- ①公共社會學程（政治學・和平學＋法學＋社會學・社會福利學）
- ②經濟管理學程（經濟學＋管理學＋觀光產業論）
- ③語言表象學程（人文科學＋語言溝通論＋綜合文化研究論）
- ④文化・環境學程（歷史學・人類學＋琉球亞洲文化論＋島嶼研究）
- ⑤臨床倫理學程（臨床心理學）

另外，有提供全部學程的學生在沖繩才能修習的必修科目。涵蓋在人文社會科學系的每個研究所需的基本知識，以及沖繩獨有的特徵與社會課題。透過讓所有學生一同修習這些科目，促進不同專業科目學生的共同學習。

本研究科除了有「修士論文學程」的論文可作為畢業成果外，也有設立針對實踐解決個別具體社會課題相關的「特定課題學程」，研究結果也可做為畢業成果。（臨床心理學程並無提供）。

地域共創研究科は、現代の地域社会及びグローバル社会の直面する多様な課題を俯瞰的に理解し、地域が今日直面する課題を解決するための具体的な方法を、それぞれが立脚する専門的見地から究明し、その解決に向けて主体的に思考し行動できる実践力と高い研究倫理観を有する高度専門職業人を養成します。

本研究科では、今日の地域課題を 5 つに分類し、そのそれぞれに即した 5 つの学修プログラムを提供しています。学生は各プログラムで、従来であれば異なる専門分野として提供していた科目を学際的に履修することができ、現実の社会課題に対応する研究に取り組むことができます。

- ①公共社会プログラム（政治学・平和学＋法学＋社会学・社会福祉学）
- ②経済経営プログラム（経済学＋経営学＋観光産業論）
- ③言語表象プログラム（人間学＋言語コミュニケーション論＋超域文化表象論）
- ④文化・環境プログラム（歴史学・人類学＋琉球アジア文化論＋島嶼研究）
- ⑤臨床倫理プログラム（臨床心理学）

また、全プログラムの学生が学ぶ沖縄ならではの必修科目も提供しています。これは、人文社会科学系のどの研究においても必要な基礎知識について、沖縄の有する特徴や社会課題と共に学ぶものです。これらの科目を全学生が共に学ぶことで、異分野との共学も促進されます。さらに本研究科では、成果物として修士論文を作成する「修士論文コース」はもちろん、個別具体的な社会課題の実践的な解決に結びつく提言等を成果物とする「特定課題コース」も設けています（臨床心理プログラムは除く）。

碩士課程 修士課程

主修 専攻	學程 プログラム	Areas of Study 教育研究分野
地區共創 地域共創	公共社會 公共社会	●政治學及和平學 政治学・平和学 ●法學 法学 ●社會學及社會福利學 社会学・社会福祉学
	經濟管理 經濟経営	●經濟 経済学 ●商業管理學 経営学 ●觀光產業論 観光産業論
	語言表象 言語現象	●人文科學 人間学 ●語言溝通論 言語コミュニケーション論 ●綜合文化研究論 超域文化表象論
	文化・環境 文化・環境	●歷史及人類學 歴史学・人類学 ●琉球亞洲文化論 琉球アジア文化論 ●島嶼研究 島嶼研究
	臨床心理 臨床心理	●臨床心理學 臨床心理学

教育學研究所

教育学研究科



教育學研究所，有專業教職學位課程。

專業教職學位課程中有一般被稱為「教職研究所」之高等教職實踐專科。在此，透過與學校教育現場及教育行政的合作，提供課程培養在學校經營、學科指導、學生指導、班級經營等切合學校課題的方面中更高度的實踐指導能力。目的在於，培養能夠解決學校教育所面臨的複雜而多元的課題的人才。

具體來說

1. 強化對教師所期望之「普遍的（不易的）資質能力」、「未來新時代特別追求的（流行的）資質能力」
2. 應對從知識學習型到學以致用並養成思考能力、判斷能力、表達能力之學力觀念的轉變。
3. 應對沖繩縣的教育課題—「學習指導（學力問題）」、「學生指導」、「組織營運」。

將解決沖繩縣教育所面臨的課題，本研究所培訓「持續學習的教師」，它不該是被動，而是積極主動面對、探討某個課題，在將從此得來的見聞回歸到學生向學上。本教職研究所的目的在於在「善於新式教

學，可望成為未來領袖的新任教師」、「善於輔導與理解學生的資深教師」、「善於協調職場內外人際關係及企劃的教師」等三個職業階段，培訓出人才。為此，本課程僅限「具教師證照者」申請・入學。

教育学研究科には、専門職学位課程があります。

この専門職学位課程には、一般に「教職大学院」と呼ばれる高度教職実践専攻があり、学校課題に即した学校マネジメント、教科指導、生徒指導、学級経営などについて、学校教育現場や教育行政との協働に基づいて、より高度な実践的指導力の修得をめざした教育課程を提供しています。学校教育が直面する複雑化・多様化する課題に対応できる人材を養成することを目的として、具体的には以下のようなことを目指しています。

①教員に求められる「普遍的（不易な）資質能力」と「これからの時代で特に求められる（流行の）資質能力」の高度化

②知識習得型の学力観から獲得した知識を活用しながら思考力・判断力・表現力等の育成を目指す学力観への転換への対応

③沖縄県教育課題—「学習指導（学力問題）」、「生徒指導」、「組織運営」—への対応

教職大学院では、沖縄県教育が抱える課題を克服するために、受け身の姿勢ではなく、自らが積極的に何らかの課題に向かい、探求し、そこから得た知見を児童生徒の学びへと還元する「学び続ける教員」を育成します。また、「新しい学びの指導に長け、将来のリーダー候補となる初任教員」、「学習支援力や生徒理解力に長けた中堅教員」、「職場内外の人間関係調整や企画力に長けた教員」などの3つのキャリアステージでの人材育成を目指しています。そのため本課程は「教員免許取得者」のみが出願・入学できます。

專業學位課程 専門職学位課程

主修 専攻

●高等教職實踐 高度教職実践



醫學研究所

医学研究科



研究所醫學領域研究所博士學程（主修醫學），於各式醫學領域中透過特色研究來開拓將來的醫學研究・先端醫療，並栽培肩負次世代的優秀人才。此外，碩士課程（主修醫療科學），則廣收醫學周邊領域人才，培育出在以生命科學來看待的醫學，以及支撐高等醫療之團隊醫療中的領導人才。

為此目的，除了大幅放寬入學資格要件，並透過多元人才資格審查來完善招收制度外，也積極招收社會人士成為研究生。

在研究方面，則推動以①沖繩健康長壽之相關研究、②亞熱帶特有疾病之相關研究、③沖繩的社會醫學・流行病學之相關研究，以及④再生・重建醫學之研究為主軸之特色基礎・臨床研究。

大学院医学系研究科博士課程（医学専攻）は、医学分野全般において特色ある研究を通して将来の医学研究・先端医療を開拓し、次世代を担う優秀な人材を育成します。また、修士課程（医科学専攻）は、医学を取り巻く周辺領域の人材を幅広く受け入れ、生命科学としての医学、また高度医療を支えるチーム医療において指導的役割を担う人材を育成します。

このような目的を達成するために大学院への入学資格要件を大幅に拡大し、多様な人材を資格審査によって受け入れる制度を整備したほか、社会人大学院生の受入れを積極的に行っています。

研究面では、①沖繩の健康長寿に関する研究、②亜熱帯特有の疾病に関する研究、③沖繩の社会医学・疫学に関する研究、及び④再生・再建医学の研究を柱とした特色ある基礎的・臨床的研究を推進しています。

主修 専攻	講座 講座
碩士課程 修士課程 醫療科學 医科学 博士課程 博士課程 醫學 医学	●系統生理學 システム生理学 ●放射線診斷治療學 放射線診断治療学 ●腦神經外科醫學 脳神経外科学 ●眼科醫學 眼科学 ●育成醫學 育成医学 ●耳鼻咽喉・頭頸部外科醫學 耳鼻咽喉・頭頸部外科学 ●精神病態醫學 精神病態医学 ●再生醫學 再生医学 ●先進基因檢查醫學 先進ゲノム検査医学 ●分子解剖學 分子解剖学 ●基因醫學 ゲノム医科学 ●人體解剖學 人体解剖学 ●分子・細胞生理學 分子・細胞生理学 ●藥理學 薬理学 ●胸部心臟血管外科醫學 胸部心臓血管外科学 ●麻醉醫學 麻醉科学 ●整形外科醫學 整形外科科学 ●泌尿外科醫學 腎泌尿器外科学 ●顎顔面口腔機能再建學 顎顔面口腔機能再建学 ●急救醫學 救急医学 ●臨床藥理學 臨床薬理学 ●藥物治療學 薬物治療学 ●醫化學 医化学 ●生化學 生化学 ●腫瘤病理學 腫瘍病理学 ●細胞病理學 細胞病理学 ●公共衛生學・流行病學 公衆衛生学・疫学 ●法醫學 法医学 ●内分泌代謝・血液・膠原病内科醫學 内分泌代謝・血液・膠原病内科学 ●循環器官・腎臟・神經内科醫學 循環器・腎臓・神経内科学 ●消化器官・腫瘤外科醫學 消化器・腫瘍外科学 ●女性・生殖醫學 女性・生殖医学 ●微生物學・腫瘤學 微生物学・腫瘍学 ●細菌學細菌学 ●免疫學・寄生蟲學 免疫学・寄生虫学 ●皮膚科醫學 皮膚科学 ●先進醫療創造科學 先進医療創成科学 ●感染症・呼吸器官・消化器官内科醫學 感染症・呼吸器・消化器内科学 ●生體防禦學 生体防御学 ●感染免疫制御學 感染免疫制御学 ●病毒學 ウイルス学 ●臨床研究教育管理學 臨床研究教育管理学 ●成形外科學 形成外科学

保健科學研究所

保健學研究科



保健科學研究所（博士前期課程、博士後期課程），目的在於培育與身心多元健康・長壽高度相關的醫學科學領域中具高度研究能力的研究者與指導者。教育研究領域由人類健康開發與國際島嶼保健兩個領域所構築而成，致力於以沖繩的社會文化環境及亞熱帶自然環境為基底，維持、增進健康・長壽或再生相關的研究及探討健康資源的研究，亞洲、太平洋地區的地方保健和島嶼保健的課題及相關對策的相關研究等獨特的主題。另外，本研究所積極推進研究所學生於亞太公共衛生學術聯盟為首的國際學會中發表研究論文，並促進研究所教育的國際化。博士前期課程修完者具有專業護理師（癌症看護）、學校護理師（專業教師執照）、檢驗師等高等專業職業技能，博事後期課程修完者，將可在大學、醫院、研究所及國際機關等，以指導員或研究者身分活躍著。

保健學研究科（博士前期課程、博士後期課程）は、心身ともに豊かな健康・長寿に資する高度な研究能力を有する保健学分野の研究者および指導者を養成することを目的としています。教育研究領域として、人間健康開発学と国際島嶼保健学の2つの領域から構成されており、沖縄の社会文化的環境および亜熱帯性自然環境を基盤とした健康・長寿の維持増進および再生に資する研究や健康資源の解明に関する研究、アジア・太平洋地域地域保健と島嶼保健の課題とその対策に関する研究などのユニークなテーマに取り組んでいます。また、本研究科は、アジア・太平洋地区公衆衛生学校連合体をはじめとする国際学会での大学院生の研究発表等を積極的に推進し、大学院教育の国際化を促進しています。博士前期課程を修了した者は専門看護師（がん看護）や養護教諭（専修免許）、検査技師などの高度専門職業人として、博士後期課程を修了した者は、大学や病院、研究所や国際機関などにおける指導者・研究者としての活躍が期待されます。

博士前期課程 博士前期課程

主修 専攻	研究領域 教育研究分野
保健科學 保健学	●人類健康開發學 人間健康開發学 ●國際島嶼保健學 国際島嶼保健学

博士後期課程 博士後期課程

主修 専攻	研究領域 教育研究分野
保健科學 保健学	●人類健康開發學 人間健康開發学 ●國際島嶼保健學 国際島嶼保健学

特別學程

特別プログラム

保健科學研究所從 2015 年開始，提供特別學程給以東南亞、太平洋國家為主的留學生及日本學生。學程從 10 月開始，9 月結束，以英語授課。本學程目的在於培育人才，研究公共衛生和醫療保健等相關問題及為其提出解決方法之政策、改革，進而對改善原生國家公共衛生有所貢獻。此學程於 2021 年度註冊 JICA 開發研究所合作，將學習日本及沖繩的保健專業領域及其發展歷史並運用所學至中低收入國家的保健專業發展教育的推動。

保健學研究科では 2015 年度より、東南アジア・太平洋諸国を中心とした留学生と日本人学生を対象に、特別プログラムを提供しています。学年暦の開始を 10 月、修了を 9 月に設定し、授業は英語で行っています。本プログラムでは、公衆衛生や保健医療に関する諸問題とその解決策の提言についての政策や、イノベーションに関する研究を行い、自国の公衆衛生の改善に寄与できる人材の育成を目的としています。このコースは 2021 年度より JICA 開発大学院連携に登録され、日本および沖縄の保健分野の開発の歴史も合わせて学び低所得国の保健分野の開発に活かす教育を進めています。

< 亞洲太平洋地區近未來實踐公共衛生人才・培育學程 アジア太平洋地域の近未来的実践公衆衛生人材育成プログラム >

博士前期課程 博士前期課程

主修 専攻	研究領域 教育研究分野
保健科學 保健学	●人類健康開發學 人間健康開發学 ●國際島嶼保健學 国際島嶼保健学

博士後期課程 博士後期課程

主修 専攻	研究領域 教育研究分野
保健科學 保健学	●人類健康開發學 人間健康開發学 ●國際島嶼保健學 国際島嶼保健学

理工學研究所

理工学研究科



←理學系

工程學系→



理工學研究所，目的在於培養具有高度的專業知識，兼具廣闊視野與國際觀感且具創造力的研究人員，以及具備高等的專業性和實踐力的科學技術人員。理工學研究所分成博士前期課程及後期課程，前期課程中工學科分為四個主修、理學科則分為三個主修領域，後期課程中合併理工學系成三個主修領域。

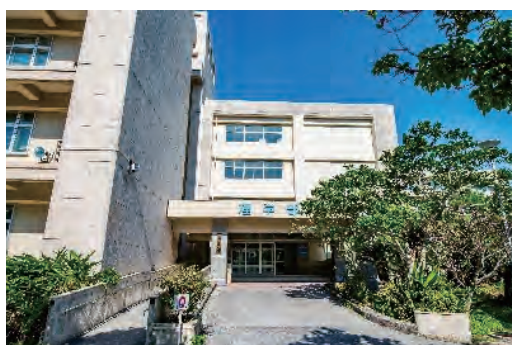
理工学研究科では高度な専門知識を有し、幅広い視野と国際感覚を兼ね備えた創造力豊かな研究者、及び高度な専門性と実践力を併せ持つ科学技術者の養成を目指しています。理工学研究科には博士前期課程と後期課程があり、前期課程は工学系が1専攻、理学系が3専攻、後期課程は理工学系合わせて3専攻から構成されています。

博士前期課程 博士前期課程

主修 専攻	學程 プログラム	研究領域 教育研究分野
工學 工学	機械系統工程學 機械システム工学	●材料力学 材料力学 ●計算力学 計算力学 ●弾性力学 塑性力学 ●材料加工工程學 材料加工 ●複合材料 複合材料 ●腐蝕保護 腐食防食 ●熱工学 熱工学 ●熱傳導工程學 熱移動工学 ●輸送現象學 移動現象論 ●流体力學 流体力学 ●流體機械學 流体機械学 ●測量工学 計測工学 ●控制工学 制御工学
	電機電子工程學 電気電子工学	●磁工程學 磁気工学 ●電漿工程學 プラズマ工学 ●大気電気層學 大気電気学 ●電力系統工程學 電力システム工学 ●電力工程學 電力工学 ●電器設備工程學 電気機器工学 ●電力電子學 パワーエレクトロニクス ●控控制及系統工程學 制御・システム工学 ●電子物性工程學 電子物性工学 ●電子裝置工程學 電子デバイス工学 ●半導體薄膜工序工程學 半導體薄膜プロセス工学 ●VLSI 系統設計 VLSI システム設計 ●計算智能工程學 計算知能工学 ●可信計算系統 ディベンダブルシステム ●光學測量工程學 光計測工学 ●電腦系統結構 コンピュータアーキテクチャ
	社會基礎設計 社会基盤デザイン	●社會系統規劃 社会システム計画学 ●水圏環境工程學 水圏環境工学 ●地盤環境工程學 地盤環境工学 ●構設計工程學 構造設計工学 ●建築材料學 建設材料学 ●海洋開發科學及技術 海洋開発科学と技術
	建築學 建築学	●建築規劃及規劃 建築デザイン・計画 ●建築歷史與理論 建築歴史・意匠、建築論 ●城市與地區規劃 都市および地方計画 ●社區環境規劃 コミュニティ環境計画 ●建築環境及設備工程學 建築環境・設備工学 ●混凝土工程學 コンクリート工学 ●建築材料 建築材料 ●計算力学 計算力学 ●耐震設計工程學 耐震設計工学 ●基礎構造學 基礎構造 ●耐風及耐震工程學 耐風・耐震工学
	系統資訊工程學 システム情報工学	●測量工学 計測工学 ●控制工学 制御工学 ●人工智慧 人工知能 ●機械學習 機械学習 ●資料探勘 データマイニング ●生物醫學工程 生体医工学 ●電子通訊系統 無線通信システム ●影像工程學 画像工学 ●計算工程學 計算工学 ●建設資訊學 建設情報学
	智能資訊 知能情報	●計算機系統 計算機システム ●信號處理 信号処理 ●機器人工程學 ロボティクス ●媒體通訊 メディア通信 ●智能系統 知的システム ●數據科學 データサイエンス ●人工智慧 人工知能 ●人機互動 ヒューマンコンピュータインタラクション ●生物資訊 生体情報 ●資訊安全 情報セキュリティ ●無線通訊 無線通信
數理科學 数理科学		●整數論 整数論 ●拓撲學 位相幾何学 ●數學分析 解析学 ●機率論 確率論 ●資訊數學 情報数学
物質地球科學 物質地球科学		●粒子物理學 素粒子物理学 ●天體物理學 宇宙物理学 ●數學物理學 数理解物理学 ●凝聚態物質物理學 凝縮系物理学 ●固態物理學 固体物理学 ●島弧岩石學 島弧岩石学 ●地球化學 地球化学 ●岩石學 岩石学 ●構造運動學 テクトニクス ●大氣海洋物理學 大気海洋物理学 ●海洋學及古海洋學 海洋学及び古海洋学 ●氣象學 気象学 ●地震學 地震学 ●地形學 地形学
海洋自然科學 海洋自然科学		●物理化學 物理化学 ●有機化學 有機化学 ●分析・地球化學 分析・地球化学 ●無機化學 無機化学 ●天然物化學 天然物化学 ●生態學 生態学 ●系統發育學和分類學 系統学と分類学 ●細胞及遺傳學 細胞・遺伝学 ●功能生物學 機能生物学 ●水產生物學 水産生物学 ●珊瑚礁生物學 サンゴ礁生物学 ●熱帶生物學 熱帯生物学

博士後期課程 博士後期課程

主修 専攻	研究領域 教育研究分野
生産能源工程學 生産エネルギー工学	●土木工学 社会基盤デザイン ●水圏環境工学 水圏環境工学 ●地球環境工学 地盤環境工学 ●結構設計工学 構造設計工学 ●建築材料科学 建設材料学 ●海洋發展科学與技術 海洋開発科学と技術 ●材料機能工学 材料機能工学 ●生産設計工学 生産設計工学 ●熱與流體の移動和能源變換 熱及び流体の移動エネルギー変換 ●開發資訊系統 開發情報システム ●電力工学 電力工学 ●電子機械工学 電子デバイス工学
綜合智能工程學 綜合知能工学	●土木工程社会系統規劃學 社会システム計画学 ●居住環境工学 居住環境工学 ●環境資訊工学 環境情報工学 ●資訊工学 知能情報工学
海洋環境學 海洋環境学	●島弧環境科学 島弧環境科学 ●環境物性學 環境物性学 ●生命環境學 生命環境学 ●海洋生物學 海洋生物学 ●島嶼生態系功能學 島嶼生態系機能学 ●化學 化学 ●熱帶生物學 熱帯生物学



特別學程

特別プログラム

理工學研究所主要以來自亞太島嶼地區國家或是南北美洲、非洲及歐洲的留學生為對象提供特別學程。考量外國留學生招生，此學程相關的募集、選拔、課程、實習將全以英文進行。

理工学研究科では、アジア・太平洋島嶼諸国、また南北アメリカ大陸、アフリカ、ヨーロッパからの留学生を対象にした特別プログラムを提供しています。外国人留学生の受入に配慮し、プログラムに関する募集、選拔、授業、実習のすべてを英語で行っています。

工程學系 工学系

< 防災韌性城市建設學程 災害に強いレジリエントシティ構築プログラム >

此學程以培育在韌性城市及環境問題中活躍的人才為目的。提供高品質的學程對應因氣候變遷影響造成之極端災害。本學程學期開始時期為 10 月，學期結束時期為 9 月。

このプログラムは、都市のレジリエンスや環境問題で活躍できる人材を育成することを目的としています。気候変動の影響により深刻化する災害に対するレジリエンス（回復力）について、質の高い学修プログラムを提供します。本プログラムは学年暦の開始を 10 月、修了を 9 月に設定しています。

博士前期課程 博士前期課程

主修 専攻

●工程學 工学

- 機械系統工程學 機械システム工学
- 電機電子工程學 電気電子工学
- 社會基礎設計 社会基盤デザイン
- 建築學 建築学
- 系統資訊工程學 システム情報工学
- 智能資訊 知能情報

博士後期課程 博士後期課程

主修 専攻

- 生產能量工程學 生産エネルギー工学
- 綜合智能工程學 総合知能工学

理學系 理学系

< 世界與沖繩的氣候變遷・生態系統：次世代科學 G-OCEANS 計畫 >

世界と沖縄の気候変動・生態系：次世代科学 G-OCEANS プログラム

本計畫聚焦於氣候變遷影響下沖繩及全球海洋環境的跨領域研究所課程。透過先進科學方法與國際合作，培育重視氣候變遷對策的次世代領導人才為目的，並以提升修課學生在整合性知識及全球視野下的問題解決能力為目標。本學程學期開始時期為 10 月或 4 月，學期結束時期為 9 月或 3 月。

本プログラムは、気候変動影響下の沖縄と世界中の海洋環境に焦点を当てた学際的大学院プログラムです。先進的科学アプローチ、国際協力による気候変動対策を重視した次世代リーダー育成を目的とし、受講生の包括的知識、グローバル視点での問題解決能力の習得・向上を目指しています。本プログラムは学年暦の開始を 10 月と 4 月、修了は 9 月と 3 月に設定しています。

博士前期課程 博士前期課程

主修 専攻

- 物質地球科學 物質地球科学
- 海洋自然科學 海洋自然科学

博士後期課程 博士後期課程

主修 専攻

- 海洋環境學 海洋環境学

農學研究所

農学研究科



農學研究所，目的在於培養人才能夠迎接二十一世紀全球化的時代，應對多樣的社會型態並

廣為社會貢獻。以學院教育中廣泛的基礎學習能力為基礎，致力於以獨創方法配合環境進行生物資源的安定生產與永續利用，同時網羅亞熱帶農學廣泛領域，以編制出體系完整的教育課程，涵養應對農學相關綜合知識與沖繩縣在內之亞熱帶地區的農業相關課題之能力。為此，自平成 23 年（2011 年）起增設亞熱帶農學專業課程。

課程內容為培養靈活思考能力與深度洞察力，立基於學習廣泛知識・技能與應用發展能力及專業知識的系統性課程，由學習廣泛的尖端農學知識之基礎教育科目，及 4 個專業教育課程提供之以亞熱帶地區課題解決為導向的新式農學教育專業科目、拓展應用科目所構成。提供廣泛而深入學習的教育課程，學習對以亞太地區為據點之熱帶・亞熱帶之農林業發展做出貢獻之高度專業知識・技術，以及食・農・環境・資源的課題相關之教育・研究之同時，也推行實踐型課程，培養研究能力及高度專業職業所需之卓越能力。

農学研究科は、21 世紀という地球化の時代を迎えて、変容する社会に対応でき、かつ、広く社会に貢献する人材を養成します。学部教育の幅広い基礎学力を基盤とし、環境に調和した生物資源の安定的生産や持続的利用に独創的に取り組むとともに、亜熱帯農学の幅広い分野を網羅した体系的な教育プログラムを編成し、農学に関する総合的な知識と沖縄県を含む亜熱帯地域の農業に関する課題に対応できる能力を涵養するため、平成 23 年度から亜熱帯農学専攻の 1 専攻を設置しました。カリキュラムは柔軟な思考力と深い洞察力を備えるため、広範な知識・技能と応用展開力の修得と農学の専門的な知識の修得をもたらす体系的なコースワークに基づき、幅広く、かつ先端的な農学の知識を修得のための基礎教育科目、4 つの専門教育コースが提供する亜熱帯地域の課題解決へ向けた新たな農学教育を行う専門科目と展開応用科目から構成されています。アジア・太平洋地域を拠点とする熱帯・亜熱帯の農林業の発展に寄与できる高度な専門知識・技術の習得、食・農・環境・資源の課題に関する教育・研究を専門教育コースに付加して行う実体験型プログラムの他、研究能力および高度の専門的な職業を担うための卓越した能力を培うための、幅広く深い学習ができる教育プログラムを提供しています。

碩士課程 修士課程

主修 専攻	研究領域 教育研究分野
亞熱帶農學 亜熱帯農学	●地區農學 地域農学コース ●農林環境科學 農林環境科学コース ●地區農業工程學 地域農業工学コース ●生物資源科學 生物資源科学コース



法務研究所

法務研究科



法務研究所は「堅持在地，放眼世界，尊重性別多様性的法律人」を基本理念。也就是培養法律人不只要擁有法學基礎知識，更要涵養豐富的人性與感性，以及能應對日本社會多様性的敏銳人權感受與國際視野，使其能在法律教育面上活用沖繩的地理・文化・政治特殊性，柔和應對沖繩所面臨的多様法律問題。

培養專業法律知識及法律思考能力的法律基本科目皆為必修。此外，培養身為法律人的責任感・倫理觀，並學習基礎實務技能的實務基礎科目，主要由現任的法律專業人士擔任講師。並且，選修科目有基礎法學及相關科目的法哲學與美國憲法等，進階及尖端科目中有為成為法律顧問與律師的在地科目（自治法學、社會保障法、倒産法等）及為成為國際律師的國際科目（英美法研修夏威夷學程、國際私法、美軍基地法等）。

法務研究科では、「地域にこだわりつつ、世界を見つめ、性の多様性を尊重する」法曹の養成を基本理念としています。すなわち、沖縄の地理的・文化的・政治的特殊性を法曹教育の面で活かし、沖縄の抱える多様な法律問題に柔軟に対応できるように、法学基礎知識だけでなく、豊かな人間性や感受性を涵養するとともに、日本社会の多様化に対応できる鋭い人権感覚と国際的視野を持った法曹を養成することを目的としています。

専門的法律知識と法的思考力を養成するための法律基本科目はすべて必修です。また、法曹としての責任感・倫理観を養い、基礎的な実務技能を修得するための実務基礎科目は、主として実務家教員が担当します。さらに、選択科目には、基礎法学・隣接科目として法哲学やアメリカ憲法があり、展開・先端科目としてはホーム・ロイヤーを目指すためのローカル科目（自治体法学、社会保障法、倒産法など）と、インターナショナル・ロイヤーを目指すためのグローバル科目（英米法研修ハワイプログラム、国際私法、米軍基地法など）があります。

專業學位課程 専門職学位課程

主修 専攻	研究領域 教育研究分野
法務學 法務専攻	●法律人材培訓教育・研究 法曹養成のための教育・研究



鹿兒島大學研究院聯合農學研究所

鹿児島大学大学院連合農学研究科



鹿児島大学研究院聯合農學所，目標要在日本的食材生產基地九州・沖縄，更進一步發展農林水產業，並培育指導者來扛起與環境調和安定的糧食生產及技術革新，為此琉球大學、佐賀大學及鹿児島大學一同合作，建構豐富的教師組織，共同使用研究設施與設備並制定教育研究體制，是個對貢獻社會及世界博士輩出的博士課程研究所。

本研究所之目的在於，培養以生產・利用溫帶到熱帶的資源為中心，地區・國際農水產學、環境農水產學以及尖端生命科學之相關高度專業能力和豐富學識的研究人員，為此門學問的進步與農水產業以及地區的發展做出貢獻。再者，也積極招募社會人士與外國人留學生，特別積極招收中國及東南亞等各國農水產學系的留學生，目標成為東亞農學的教育研究中心。

鹿児島大学大学院連合農学研究科は、日本の食料生産基地である九州・沖縄において、農林水産業のさらなる発展を目指し、環境と調和した安定的な食料生産及び技術革新を担う指導者の養成を目的に、琉球大学、佐賀大学と鹿児島大学が連合し、多彩な教員組織を構築して、研究施設及び設備も連合しながら教育研究体制を作り、社会・世界に貢献する博士を輩出する博士課程大学院です。

本研究科は、温帯から熱帯資源の生産・利用を中心に地域・国際農水産学、環境農水産学及び先端生命科学に関する高度の専門的能力と豊かな学識をそなえた研究者を養成し、斯学の進歩と農水産業及び地域の発展に寄与することを目的とします。また、社会人並びに外国人留学生、特に中国及び東南アジア等の諸国から農水産学系の留学希望者を積極的に受け入れ、東アジアにおける農学の教育研究の中核となることを目的とします。

博士課程 博士課程

主修 専攻

農業與水産生命科學
農水生命科学

研究領域 教育研究分野

- 農業水域生産科學 農水圏生産科学
- 生物資源生命科學 生物資源生命科学
- 地區環境共生學 地域環境共生科学



留學生申請資格和手續

出願資格と手続き

欲申請琉球大學就讀的外籍生（無日本國籍者）必須先申請 1. 大學部生、2. 研究生（院生）、3. 研究預備生、4. 日語學習生（科目等履修生）、或是 5. 交換學生等身分的入學許可。原則上申請者必須能理解上課所需的日語。

琉球大學への入学を希望する外国人志願者（日本国籍を有しない者）は、1) 学部学生、2) 大学院生、3) 研究生、4) 科目等履修生、又は 5) 交換留学生として入学許可の申請をします。原則として、修学に必要な日本語を理解できる者でなければなりません。

1 大學部生 学部学生

大學部的教育課程從每年 4 月開始，至畢業為期 4 年（惟醫學院醫學系為期 6 年）。大學生入學許可申請資格如下所示。

➤ 申請者必須在外國（日本以外）完成 12 年學校教育課程，或具有日本文部科學省（相當於教育部）承認之同等學歷。持有國際通用的國際文憑（International Baccalaureate）資格，取得歐洲（主要為德國）認可的高中畢業同等考試（Abitur）資格，法國的文憑認可（Baccalaureate）資格，或取得普通教育高級程度證書（大不列顛及北愛爾蘭聯合王國）者。

➤ 必須參加本校指定之日本留學試驗（日本學生支援機構於 6 月和 11 月實施）的文科或理科的全學科考試申請者。同時，各科的成績必須為「日語 200 分以上」且「基礎學科能力（文組科系者「綜合科目」「數學」、理組科系者「理科」「數學」）200 分以上」。（如欲報考農學部者，「日語」、「理科」（兩科目）、「數學」等四科目中，其中的三科需達各科考生的全體平均分數（日語則為「聽解・聽讀解」及「讀解」的「合計」平均分數）以上。）

入學考試時間訂於每年 12 月，考試科目依據報考的系所有所不同。詳情請參考《學生募集要項（私費外國人留學生特別選拔）》查詢。在日本高中畢業之外籍生報考方式比照日本學生入學方式。

詳細資訊請至以下網站瀏覽（日文）。

學生募集要項：<https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/recruitment/>

学部教育課程は毎年4月に始まり、卒業までに4年間かかります（ただし、医学部医学科は6年間）。学部学生の入学許可を得るための要件は、以下のとおりです。

>> 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者（ドイツ連邦共和国）、バカロレア資格（フランス共和国）取得者及びジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国）取得者

>> 日本留学試験（日本学生支援機構により6月と11月に実施）で、本学が指定する文系又は理系の全教科を受験している者また、その得点がそれぞれ「日本語200点以上」かつ「基礎学力（文系は「総合科目」「数学」、理系は「理科」「数学」）200点以上」であること（ただし、農学部の志願者においては、「日本語」、「理科」（2科目）、「数学」の4教科・科目のうち、3教科・科目が、各教科・科目の受験者全体の平均点（日本語については、「聴解・聴読解」および「読解」の「合計」の平均点）以上であること。）

入学試験は毎年12月に実施され、試験科目は受験する学科によって異なります。詳細については、学生募集要項（私費外国人留学生特別選抜）でご確認下さい。なお、日本の高等学校を卒業した者については、日本国籍の出願者と同じ選抜方法になります。

詳細については、以下の HP をご確認ください。

学生募集要項：<https://www.u-ryukyu.ac.jp/admissions/recruitment/>

2 研究生（院生） 大学院生

研究所分為 2 年的碩士課程和 3 年的博士課程（惟醫學研究所博士課程為 4 年）。研究生申請入學資格如下所示。

- 在國外（日本以外）完成 16 年學校教育課程的申請者，或具有日本文部科學省（相當於教育部）承認的同等學歷的申請者。（報考醫學研究科者，必須在日本國外完成 18 年普通教學課程）
- 欲就讀碩士學位者，需已取得學士學位者，或認定擁有同等學歷者。
- 欲就讀博士學位者。需取得碩士學位，或相當專業職學位者，又或者認定擁有同等學歷者。

詳情請參考招生項目。入學申請書請洽各研究科。（聯絡方式如封底）

研究科（大学院）には、2年間の修士課程（博士前期課程）と3年間の博士課程（博士後期課程）があります（ただし、医学研究科博士課程は4年間）。大学院生の入学許可を得るための要件は、以下のとおりです。

>> 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者（医学研究科への志願者は、外国において学校教育における18年の課程を修了した者）

>> 修士課程（博士前期課程）については、学士の学位を授与された者または大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

>> 博士課程（博士後期課程）については、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を有する者またはこれと同等以上の学力があると認められた者

願書や出願については、各研究科の事務室にお問い合わせください。（問い合わせ先は裏表紙）

3 研究所預備生 研究生

研究所預備生為接受指導教授指導進行研究的學生。研究期間為 1 年以內，並無法取得任何學位。另外研究所預備生開始時期分為，前期（4 月）或者後期（10 月）。（醫學院除外）

欲以學院的研究生身分入學者，需有於日本大學以上的畢業資格或者同等學力。若欲以研究所的研究生身分入學者，則需學院研究生以上的入學資格，並符合研究科系的條件。

申請書須在本校指定日期（上學期申請日期至 2 月 10 日止，下學期申請日期至 8 月 10 日止）前，提交至欲入學學院。詳細內容請洽欲入學學院及研究科系之辦公室。（聯絡方式如封底）

研究生とは、指導教員の指導を受けて研究を行う学生です。研究期間は1年以内で、学位は授与されません。なお、研究生は、前学期（4月）又は後学期（10月）から研究を始めることができます。（医学部を除く。）

学部の研究生として入学することのできる者は、日本において大学を卒業した者またはこれと同等の学力があると認められた者で、

大学院の研究生として入学することのできる者の資格は、学部の研究生以上の入学資格以上とし、研究科の定めるところによります。

願書は、本学が指定する日（前学期にあつては2月10日まで、後学期は8月10日）までに希望の学部に提出してください。詳細については、入学を希望する学部及び研究科の事務室にお問い合わせください。（問い合わせ先は裏表紙）

4 日語學習生（科目等履修生） 科目等履修生

日語學習生可得到一年以內的短期入學許可，期間得選修經修課許可之科目。日語學習生入學可以分上學期（4月）和下學期（10月）。不授予學位，但考試合格者可取得學分。申請資格如下所示。

- 在外國（日本以外）完成12年學校教育課程，或被文部科學大臣指定為相當者。
- 日本國內高中畢業者，或被承認具有同等學力者。

申請書須於本校指定日期（上學期為2月15日、下學期為8月15日）以前，向欲申請之學院提交申請。詳情請洽詢欲申請學院或研究所辦公室。（聯絡方式如封底）

此外，欲修習日語、日本事情科目以及共通教育科目者，請向學生部教育支援課（kykyotsu@acs.u-ryukyu.ac.jp）洽詢。
（日語學習生必須具有相當日本能力試驗N2以上的日語能力。）

科目等履修生として入学する者は、1年以内の期間の入学許可をもらい、受講許可を受けた科目のみを履修することができます。科目等履修生は、前学期（4月）または後学期（10月）に入学できます。学位は授与されませんが、試験に合格すれば単位を取得することができます。出願資格は以下のとおりです。

>> 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

>> 日本の高等学校を卒業した者、または同等以上の学力と認められた者

願書は、本学が指定する日（前学期にあつては2月15日まで、後学期は8月15日）までに希望の学部提出してください。詳細については、入学を希望する学部の事務室にお問い合わせください。（問い合わせ先は裏表紙）

日本語・日本事情科目及び共通教育科目の履修については、学生部教育支援課（kykyotsu@acs.u-ryukyu.ac.jp）にお問い合わせください。（科目等履修生が授業を受けるためには、JLPTN 2レベルが必要です。）

5 交換學生 交換留学生

琉球大學交換學生課程（RISE : Ryukyus International Student Exchange Program），是根據琉球大學交換學生協議，針對姐妹校派遣的交換生所提供的課程。本課程（RISE）是由「日本・沖繩學習課程」，「國際地區領導菁英（Glocal Leader）培育課程」，「日語教師培育課程」，「學院／研究所專業課程」所構成的短期交換留學課程。留學期間，交換生可選修琉球大學所提供之科目或進行研究。申請資格如下。

- ・與琉球大學簽有交換學生協議大學之正規課程學生，或 UMAP，ISEP 加盟大學之正規課程學生
- ・開始留學時，必須為四年制大學二年級或二年級以上的本科生或者研究生。短期大學之學生必須為在學最後一年的在學生。
- ・符合各課程所要求的語言條件之學生
- ・擁有外國國籍者

詳情請洽詢學生部國際教育課（inbound@acs.u-ryukyu.ac.jp）

RISE プログラムは、日本・沖繩學習コース、グローバルリーダー育成コース、日本語教員養成コース、学部専門コース／大学院専門コースから成る短期交換留學プログラムです。琉球大学と学生交流協定を締結している大学から留学生を受け入れるプログラムであり、留学生は琉球大学が提供する科目を受講したり、研究等を行ったりすることができます。出願資格は以下のとおりです。

>> 琉球大学と学生交流協定等を締結している大学、UMAP 又は ISEP に加盟している大学に正規課程の学生として在籍している者。

>> 留學開始時点で4年制大学において2年次以上の学部学生又は大学院学生であること。短期大学の場合は最終学年次の学生であること。

>> 各コースが求める語学要件を満たす者。

>> 外国籍を有している者。

詳細については、学生部国際教育課（inbound@acs.u-ryukyu.ac.jp）にお問い合わせください

日語課程

日本語教育

本校日語班是以日語能力分班，從初級至高級班。此外也可選修日本事情等課程來學習沖繩與日本的歷史及文化等。除了報考本校各學部及研究所之外，亦可作為科目等履修生，選修日語及日本事情等相關課程。

（日語學習生必須具有相當日本能力試驗 N2 以上的日語能力。）

日本語は、中級から上級まで日本語力に合ったクラスで学べます。また日本事情のクラスで沖縄と日本の歴史や文化が学べます。学部や大学院への入学だけでなく、科目等履修生として日本語や日本事情の科目を受講することもできます。（科目等履修生が授業を受けるためには、JLPT N2 レベルが必要です。）

1 學分課程 単位が出る授業

以留學生為對象之日語班級有提供共通教育的日文・日本事情之科目以及國際教育中心提供之日文學習科目等。日文學習科目分級為入門至初中級（A1~B1），共通教育的日文・日本事情科目則分級成中級至高級前段（B2~C2）。學院學生、研究生、研究所預備生、短期交換留學生須於指定期間內接受分級考試，並接受國際教育中心專員的選修指導後即可選修。

留学生を対象とした日本語クラスには、共通教育の日本語・日本事情科目と、国際教育センターが提供する日本語学習科目とがあります。

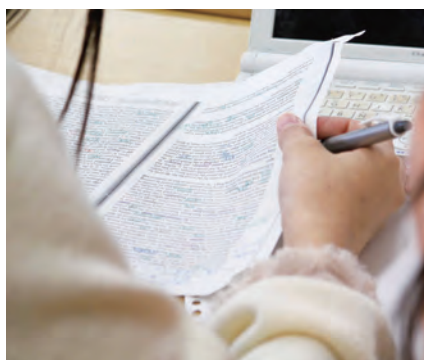
日本語学習科目は入門から初中級レベル（A1 ～ B1）、共通教育の日本語・日本事情科目は中級から上級前半まで（B2 ～ C2）のレベルに分かれています。

学部生、大学院生、研究生、短期交換留學生は、所定の期間にプレースメントテストを受けて、国際教育センターのコーディネーターの履修指導を受けた上で、受講することができます。

2 無學分課程 単位が出ない授業

研究生及研究所預備生可選修相當於自己程度之共通教育的日文・日本事情科目或者日文學習科目，但不予學分。欲選修者需要指導教師的許可。研究生若希望取得學分，需以科目等履修生的身份提出申請。

大学院生と研究生は、日本語のレベルに応じて、共通教育の日本語・日本事情科目または日本語学習科目の授業を受けることはできますが、単位は出ません。また、受講するには、指導教員の許可が必要です。大学院生が単位修得を希望する場合は、科目等履修生として出願する必要があります。



學雜費

授業料等

本校的考試報名費，入學費，課程費用如以下所示。
在本校大學部及研究所就讀的自費留學生，成績優秀且由於經濟上的理由對繳納學費有困難者，可申請部分學雜費減免。

大学の検定料、入学料、授業料は次のとおりです。
また、大学及び大学院に在籍する私費留学生で、成績優秀かつ経済的な理由で授業料納付が困難な学生に対しては、授業料の一部を免除する制度もあります。

	考試報名費 検定料	入學費 入学料	學費 授業料
大學部生 学部学生	¥ 17,000	¥ 282,000	¥ 535,800 (一年 年額)
研究生 (院生) 大学院生	¥ 30,000	¥ 282,000	¥ 535,800 (一年 年額)
法務研究生 (專業學位課程生) 法務研究科生	¥ 30,000	¥ 282,000	¥ 804,000 (一年 年額)
研究所預備生 研究生	¥ 9,800	¥ 84,600	¥ 29,700 (一個月 月額)
日語學習生 科目等履修生	¥ 9,800	¥ 28,200	¥ 14,800 (一學分 1単位当)

(至 2025 年 4 月 1 日 / 2025 年 4 月 1 日現在)

宿舍

宿舍

1 學生宿舍 学生寮

日本人學生和留學生都能入住學生宿舍。宿舍皆為單人房。一般棟及混住棟之廚房、浴室、廁所皆為共同使用；而新混住棟及新棟房間內設有廚房、浴室及廁所。

学生寮は、日本人学生も留学生も入居することができます。一般棟、混住棟、新混住棟、新棟は全て単身室となっており、一般棟、混住棟の入居者は台所と浴室を共同で使します。新混住棟及び新棟は、台所、浴室、トイレが室内に完備されています。

		房租 (月額) 寄宿料 (月額)	使用費 (月額) 維持費 (月額)	水電瓦斯費 (月額) 光熱水料 (月額)
一般棟 一般棟	Atype	¥ 10,000	¥ 9,400	實際使用金額 使用実績額
	Btype	¥ 15,000	¥ 5,000	
混住棟 混住棟		¥ 15,000	¥ 9,400	
新混住棟 新混住棟		¥ 20,000	¥ 5,000	
新棟 新棟		¥ 25,000	¥ 5,000	

(至 2025 年 4 月 1 日 / 2025 年 4 月 1 日現在)

② 琉球大學國際交流會館 国際交流会館

本校有專為留學生及外國研究員設置的國際交流會館，此宿舍有提供單人房、夫妻房、以及家族套房。居住時間僅限一年。另外，單人房以短期交換留學生優先入住，因此並無招募一般留學生。

本学には国際交流会館という留学生及び外国人研究者の宿舎があり、単身室、夫婦室と家族室があります。入居期間は1年間です。なお、単身室は短期交換留学生を優先して配置しますので、一般の留学生向けの募集はありません。

	房租（月額） 寄宿料（月額）	使用費（月額） 維持費（月額）	水、電、瓦斯費（月額） 入電気・ガス・水道料金	掃除費（年額） 清掃料（年額）
夫妻套房 夫婦室	¥ 25,000	¥ 2,000	實際使用金額 使用実績額	¥ 39,600
家族套房 家族室	¥ 30,000			¥ 47,300
單人房 単身室	¥ 15,000			¥ 33,000

（至 2025 年 4 月 1 日 /2025 年4月1日現在）

由於宿舍房間數有限，無法保證一定能申請到宿舍。大學宿舍以外，校園附近也有許多租屋提供學生租賃，相較於日本其他城市，沖繩的房租一般較為便宜。

大学の宿舎には数に限りがあるので、必ず入居できるという保証はありません。大学の外にもたくさんの民間アパートがあり、日本の他の都市に比べて沖縄のアパートは一般的に家賃が安くなっています。



獎學金

留學生のための奨学金

1 日本教育部（文部科學省）國費留學生制度 日本政府（文部科学省）国費外国人留学生制度

國費外國人留學生制度是指由日本文部科學省（相當於教育部）頒發獎學金，資助在日本的大學就讀或研究的留學生所需之出國與歸國旅費，以及在日本期間之學費和生活費的制度。國費外國人留學生是經由日本大使館或日本的大學推薦後選出。

相關申請資格與手續等請參考文部科學省首頁〔關於國費留學生制度〕

【文部科學省官方網站】

URL http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/06032818.htm

国費外国人留学生制度とは、文部科学省より日本の大学で勉学・研究する留学生に対して渡日旅費、帰国旅費さらに日本での学費・生活費を奨学金として支給する制度です。国費外国人留学生は、日本大使館の推薦あるいは日本の大学の推薦により選考されます。応募資格、手続き等については、文部科学省公式ウェブサイトの「国費外国人留学生制度について」をご覧ください。

【MEXT website 文部科学省公式ウェブサイト】

URL http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/06032818.htm

2 日本文部科學省外國人留學生學習獎勵金給付制度 文部科学省外国人留学生学習奨励費給付制度

學習獎勵金是以學業、品格兼優並且為了留學而需要經濟上支援的私費留學生為對象之獎學金。此獎學金由日本學生支援機構（JASSO）所提供。（非正規學生不列入對象內。）詳細資訊請自行至 JASSO 官方網站查詢。

【JASSO website 日本學生支援機構（JASSO）官方網站】

URL http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/scholarships/shoureihi/index.html

学習奨励費は、学業・人物とも優れ、かつ留学を続けていくための経済的な援助を必要とする私費留学生を対象とした、日本学生支援機構（JASSO）の奨励費です。（非正規生は対象になりません。）詳細については、日本学生支援機構（JASSO）公式ウェブサイトをご覧ください。

【JASSO website 日本学生支援機構（JASSO）公式ウェブサイト】

URL https://www.jasso.go.jp/ryugaku/scholarship_j/shoreihi/about.html

3 國際交流團體和民間財團等獎學金 國際交流団体や民間財団等の奨学金

大部分獎學金都可以在進入日本的大學之後申請。申請資格（學生身份、主修、國籍等），會因獎學金的種類和提供的團體等而有所不同。

請參考日本學生支援機構（JASSO）官方網站〔日本留學獎學金〕。

URL <https://www.studyinjapan.go.jp/ja/planning/scholarships/other-scholarships/>

ほとんどの奨学金は、日本の大学に入学した後で応募できます。応募資格（学生身分、専攻、国籍等）については、奨学金の種類や支給する団体等によって異なります。

詳細については、日本学生支援機構（JASSO）公式ウェブサイトの「日本留学奨学金」をご覧ください。

【JASSO website 日本学生支援機構（JASSO）公式ウェブサイト】

URL <https://www.studyinjapan.go.jp/ja/planning/scholarships/other-scholarships/>

加深對異文化的理解、培養國際視野。 異文化への理解を求め、国際的視野を身につける

琉球大學，以其中一個基本理念，「推動國際交流」，推動與海外大學等之教育・研究交流，現在（2025 年4月1日）與 46 國地區之142所大學締結國際交流協議。並同時與其中113 所大學締結「學生交流協議（備忘錄）」。短期留學（派遣）課程為保留琉球大學學籍並赴國外大學留學之計畫（交換留學）。推動培育廣闊視野及全球化思考力之海外留學。

琉球大学では、「国際交流の推進」を基本理念の一つとして、海外の大学等との教育・研究交流を推進しており、現在46か国・地域の142の大学・機関（2025 年4月1日時点）と国際交流協定を締結しています。これらの協定大学のうち113 大学とは「学生交流協定（覚書）」を併せて締結しています。短期留学（派遣）プログラムは、琉球大学に在籍したまま外国の大学へ留学するプログラム（交換留学）です。広い視野とグローバルな思考力を育む海外留学を推進しています。

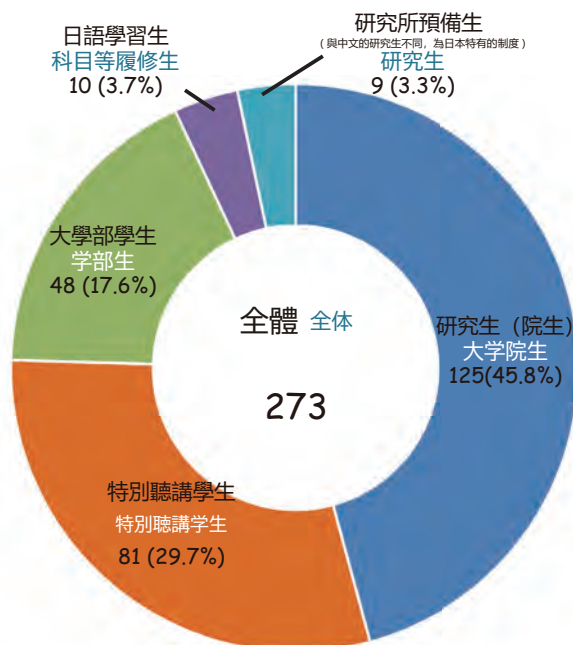
年度別外國人留學生人數（各年之 5 月 1 日） 各年別外国人留学生数（各年5月1日現在）

	2020	2021	2022	2023	2024
自費 私費	208	199	233	253	228
國費 国費	54	45	45	45	42
縣費 県費	0	0	0	0	3
外國政府派遣 外国政府派遣	3	2	1	0	0
總數 合計	265	246	279	298	273

學生人數前五名之國家・地區（2024 年5月1日現在）
受入ベスト5（2024 年5月1日現在）

	國名 / 地區 国名 / 地域	人數 人数
1	中國 中国	79
2	臺灣 台湾	29
3	韓國 韓国	27
4	阿富汗 アフガニスタン	19
5	印尼 インドネシア	17

在校身分別留學生數 在籍身分別留学生数



國家・地區別留學生人數（2024 年 5 月 1 日現在） 国・地域別留学生数



交流協議大學之地區・國別（46 国・地域、142 大学・機関）(2025 年 4 月 1 日現在)
 交流協定大学の地域・国別（46 ヶ国・地域、142 大学・機関）(2025 年 4 月 1 日現在)

地區別（數） 地域別（數）	對象國家・地區（數） 相手国・地域（數）	對象大學 相手大学
亞洲 (86) アジア	印度 (2) インド	馬丹・莫漢・馬拉維亞科技大學 (Madan Mohan Malaviya University of Technology) Atal Bihari Vajpayee, 印度訊息技術與管理學院, 瓜廖爾 マダン・モハン・マラヴィヤ工科大学、インド情報技術経営大学グワーリオール校
	印尼 (9) インドネシア	薩姆・拉圖蘭吉大學 (Sam Ratulangi University), 茂物農業大學 (Institut Pertanian Bogor), 迪波內戈羅大學, 國立亞齊大學 (Universitas Syiah Kuala), 哈羅柳大學 (Universitas Halu Oleo), 艾爾朗加大學, 哈桑丁大學 (Hasanuddin University), 烏達亞那大學, 馬塔蘭大學 サムラトランギ大学、ボゴール農業大学、ディボネゴロ大学、シアクアラ大学、ハルオレオ大学、アイルランガ大学、ハサヌディン大学、マタラム大学、ウダヤナ大学
	柬埔寨 (1) カンボジア	柬埔寨理工學院 (Institute of Technology of Cambodia) カンボジア工科大学
	新加坡 (1) シンガポール	南洋理工大學 南洋理工大學
	斯里蘭卡 (2) スリランカ	Ruhuna 大學 ルフナ大学 斯里賈亞瓦德納普拉大學 スリジャヤワルダナプラ大学
	泰國 (6) タイ	朱拉隆功大學, 泰國國立法政大學, 孔敬大學, 清邁大學, 先皇技術學院, 泰國農業研究發展機構 チュロンコン大学、タマサート大学、コンケン大学、チェンマイ大学、キング・モンクット工科大学ラカパン校、農業研究開発庁
	韓國 (14) 韓国	啟明大學, 濟州大學, 順天大學, 首爾市立大學, 延世大學, 國立木浦大學, 湖西大學, 忠北大學, 成均館大學, 慶熙大學, 高麗大學, 京畿大學, 昌原大學, 高神大學 啓明大学校、済州大学校、順天大学校、ソウル市立大学校、延世大学校、木浦大学校、湖西大学校、忠北大学校、成均館大学校、慶熙大学校、高麗大学校、京畿大学校、昌原大学校、高神大学校
	台灣 (22) 台湾	國立臺灣大學, 國立中山大學, 國立臺灣海洋大學, 東海大學, 國立臺南大學, 國立澎湖科技大學, 國立雲林科技大學, 國立臺灣科技大學, 臺北醫學大學, 文藻外語大學, 中國文化大學, 開南大學, 台北城市科技大學, 中原大學, 國立東華大學, 東吳大學, 逢甲大學, 國立金門大學, 天主教輔仁大學, 靜宜大學, 國立虎尾科技大學, 國立高雄大學 国立台湾大学、国立中山大学、国立台湾海洋大学、東海大学、国立台南大学、国立澎湖科技大学、国立雲林科技大学、国立台湾科技大学、台北医学大学、文藻外語大学、中国文化大学、開南大学、台北城市科技大学、中原大学、国立東華大学、東吳大学、逢甲大学、国立金門大学、天主教輔仁大学、静宜大学、国立虎尾科技大学、国立高雄大学
	中國 (12) 中国	中山大學中山醫學院, 中南林業科技大學, 福建師範大學, 福州大學, 大連工業大學, 雲南農業大學, 延邊大學, 華中科技大學, 對外經濟貿易大學, 廈門理工學院, 海南大學, 中國海洋大學 中山大学中山医学院、中南林業科技大学、福建師範大学、福州大学、雲南農業大学、延邊大学、華中科技大学、對外經濟貿易大学、大連工業大学、廈門理工学院、海南大学、中国海洋大学
	孟加拉 (1) バングラデシュ	拉傑沙希工程技術大學 (Rajshahi University of Engineering & Technology) ラジシャヒ工科大学
	菲律賓 (2) フィリピン	菲律賓大學馬尼拉校區, 馬巴拉卡特學院 フィリピン大学マニラ校、マバラカット・シティ大学

地區別（數） 地域別（数）	対象國家・地區（數） 相手国・地域（数）	対象大學 相手大学
亞洲 (83) アジア	越南 (7) バトナム	河内農業大學 (Hanoi Medical University), 河内國家大學, 胡志明市國家大學, 河内理工大學, 太原大學, 河内醫科大學, 河内國立教育大學 ベトナム国家農業大学、ベトナム国立大学ハノイ校、ベトナム国家大学ホーチミン市校、ハノイ科学技術大学、ターグエン大学、ハノイ医科大学、ハノイ国立教育大学
	馬來西亞 (1) マレーシア	沙巴森林部 (Sabah Forestry Department) サバ森林局
	緬甸 (2) ミャンマー	資訊技術大學 (University of Information Technology), 緬甸兽医科学大学 (University of Veterinary Science, Yezin) 情報技術大学、ミャンマー獣医科学大学
	蒙古 (2) モンゴル	蒙古科技大學, 蒙古生命科學大學 国立モンゴル科学技術大学、モンゴル生命科学大学
	寮國 (2) ラオス	寮國國家大學, 寮國衛生科學大學 ラオス国立大学、ラオス健康科学大学
大洋洲 (10) 大洋州	澳大利亞 (1) オーストラリア	坎培拉大學 キャンベラ大学
	薩摩亞 (1) サモア	薩摩亞國立大學 国立サモア大学
	東加 (1) トンガ	Atenisi 大學 (Atenisi University) アテニシ大学
	紐西蘭 (1) ニュージーランド	威靈頓維多利亞大學 ウェリントン・ヴィクトリア大学
	巴布亞紐幾內亞 (1) パプア・ニューギニア	巴布亞紐幾內亞大學 (University of Papua New Guinea) パプア・ニューギニア大学
	帛琉 (1) パラオ	帛琉社區學院 (Palau Community College) パラオ地域短期大学
	斐濟 (1) フィジー	南太平洋大學 南太平洋大学
	新喀里多尼亞 (1) 仏領ニューカレドニア	新喀里多尼亞大學 ニューカレドニア大学
	馬紹爾群島 (1) マーシャル諸島	馬紹爾群島學院 (College of The Marshall Islands) マーシャル諸島短期大学
北美洲 (16) 北米	美國 (14) 米国	密西根大學, 關島大學, 夏威夷大學系統, 夏威夷大學瑪諾亞分校, 夏威夷大學希羅分校, 夏威夷大學 Kaua'i 社區學院, 夏威夷大學夏威夷社區學院, 加州大學戴維斯分校, 加州大學聖塔克魯茲分校, 內華達大學雷諾分校, 富特劉易斯學院, 波爾州立大學, 東密西根大學, 夏威夷大學カピオラニ社區學院 ミシガン州立大学、クアム大学、ハワイ大学システム、ハワイ大学マノア校、ハワイ大学ヒロ校、ハワイ大学カウアイコミュニティカレッジ、ハワイ大学コミュニティカレッジ、カリフォルニア大学ディヴィス校、カリフォルニア大学サンタクルーズ校、ネバダ大学リノ校、フォートルイス大学、ボールステイト大学、イースタンミシガン大学、ハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジ
	加拿大 (2) カナダ	愛德華王子島大學, 紐芬蘭紀念大學 プリンス・エドワード・アイランド大学、ニューファンドランド・メモリアル大学
中南美洲 (6) 南米	阿根廷 (1) アルゼンチン	拉普拉塔國立大學 国立ラプラタ大学
	多明尼加共和國 (1) ドミニカ共和国	多明尼加伊比利美洲大學 (Universidad Iberoamericana) イベロアメリカナ大学
	玻利維亞 (2) ボリビア	聖克魯斯私立大學 サンタクルス・デ・ラ・シエラ私立大学 諸國立自治大學 ガブリエル・レネ・モレノ国立自治大学
	巴西 (2) ブラジル	聖保羅大學, 巴西利亚大學 サンパウロ大学、ブラジリア大学
歐洲 (21) ヨーロッパ	義大利 (1) イタリア	羅馬智慧大學 ローマ大学ラ・サピエンツァ
	英國 (3) 英国	雪非爾大學, 皇家植物園 (邱園), 約克聖約翰大學 シェフィールド大学、キュー王立植物園、ヨーク・セント・ジョン大学
	科索沃 (1) コソボ共和国	普里斯提納大學 プリシュティナ大学
	瑞典 (1) スウェーデン	哥特堡大學 ヨーテボリ大学
	西班牙 (3) スペイン	巴塞隆納自治大學, 拉古納大學, 大加那利群島拉斯帕爾馬斯大學 バルセロナ自治大学、ラ・ラゲーナ大学、ラス・パルマス・デ・グラン・カナリア大学
	德國 (1) ドイツ連邦共和国	杜塞道夫大學 ハインリッヒ・ハイネ・デュッセルドルフ大学
	比利時 (1) ベルギー	比利時魯汶大學 ルーヴェン・カトリック大学
	捷克 (1) チェコ	布爾諾理工大學 ブルノ工科大学
	法國 (6) フランス	高等研究應用學院, 里爾科技大學, 土魯斯第二大學, 土魯斯第一大學, 雷恩第一大學, 里昂第三大學 フランス国立高等研究院、リール大学、トゥルーズ・ジャン・ジョレス大学、トゥルーズ第一キャピトル大学、レンヌ第一大学、ジャン・ムーラン・リヨン第三大学
	波蘭 (2) ポーランド	盧布林工業大學, 格但斯克大學 ルブリン工科大学、グダニスク大学
	俄羅斯聯邦 (1) ロシア	遠東聯邦大學 極東連邦大学
	阿富汗 (1) アフガニスタン	喀布爾大學 カブール大学
中東 (3) 中東	伊朗 (1) イラン	德黑蘭大學 テヘラン大学
	土耳其 (1) トルコ	棉花堡大學 パムツカレ大学

沖繩縣簡介

沖繩県の紹介

沖繩縣是由沖繩本島和超過 160 個大小島嶼 (0.01k m²以上) 所組成。總面積為 2,280k m² (約 880 英里)。人口約 145 萬人。縣政府所在地的那霸市是商業與文化共存的繁榮的中心，亦為連結著日本本土與外國的大門。沖繩位於日本最南端，屬於亞熱帶氣候；年間平均氣溫為 23 度，冬季不下雪，氣溫通常高於 10 度。雨量屬豐沛，年間降雨量約為 2,000 mm，年平均濕度也高於 74%，而夏季常有颱風。沖繩以有著豐富多彩的自然環境出名。因為有被稱為黑潮的暖流，所以多數的島嶼被美麗的珊瑚礁所包圍，吸引著許多從本土及海外的觀光客來訪沖繩。

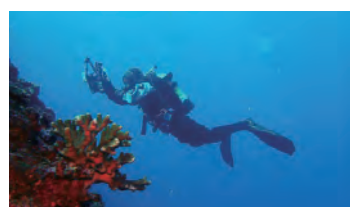
從過去的琉球王朝時代開始，沖繩縣便頻繁地與中國、韓國以及東南亞各國有貿易往來，而這些交流也給予了沖繩文化許多深厚的影響。沖繩的文化在於祭典、舞蹈、音樂及美術工藝等等多樣面也保持著其獨特的傳統，代表性的例行活動節日有：EISA (精靈祭、沖繩太)、HAARRI (划龍舟競賽)、大型拔河賽等等。除此之外，沖繩的人民也非常注重對於祖先的崇拜，這也給予了人們的生活及想法方面上極強烈的影響。

沖繩県は、本島と大小 160 以上の島々 (0.01 km² 以上) からできており、総面積は約 2,280 km² (約 880mi²) です。人口は約 145 万人です。県庁所在地である那覇市は、商業と文化のにぎやかな中心地で、日本本土や外国を結ぶ玄関になっています。沖繩は、日本で最も南に位置し、亜熱帯気候に属しています。年間平均気温は摂氏 23 度です。冬でも雪は降らず、10 度以下に下がることはほとんどありません。比較的雨が多く、年間降水量は約 2,000 mm、湿度も年平均 74% と高めです。夏にはよく台風が来ます。沖繩は、豊かな自然が大変有名です。黒潮と呼ばれる暖かい海流のため、ほとんどの島々は美しいサンゴ礁に囲まれ、本土や海外から多くの観光客が沖繩を訪れています。

沖繩は、かつての琉球王朝の時代に中国や韓国、東南アジアの国々と貿易を盛んに行い、文化も大きく影響されました。沖繩の文化は、祭り、踊り、音楽、美術工芸など様々な面で今でも独特の伝統を守り続けています。代表的な行事には、エイサー (精霊祭)、ハーリー (爬竜船競漕)、大綱挽などがあります。また、沖繩の人々は先祖崇拜に非常に重きをおき、それは人々の生活や考え方などにも強く影響しています。

沖繩的平均氣溫 沖繩の平均気温

	Jan.	Feb.	Mar.	Apr.	May	June	July	Aug.	Sep.	Oct.	Nov.	Dec.
Degrees (°C)	17	17	19	21	24	27	29	29	28	25	22	19



校區平面圖



醫學院及大學醫院已遷移至西普天間校區。
医学部・大学病院は西普天間キャンパスへ移転しました。





University of the Ryukyus
1 Senbaru, Nishihara-cho, Nakagami-gun, Okinawa 903-0213 JAPAN

有關本校資訊可見

琉球大學網頁：<http://www.u-ryukyu.ac.jp/>

國際教育中心網頁：<https://ges.skr.u-ryukyu.ac.jp/>

人文社會學院

人文社會科學研究所

E-mail: hbgakmu@acs.u-ryukyu.ac.jp

國際地區創造學院

地區共創研究所

E-mail: ktgakumu@acs.u-ryukyu.ac.jp

法科研究所（研究所 法務研究科）

E-mail: hbhkdak@acs.u-ryukyu.ac.jp

理學院

理工學研究科（理學系）

E-mail: rggakmu@acs.u-ryukyu.ac.jp

工學院

理工學研究科（工學系）

E-mail: kggakmu@acs.u-ryukyu.ac.jp

學生部國際教育處

E-mail: kogakuko@acs.u-ryukyu.ac.jp

教育學院

教育學研究科

E-mail: kigakmu@acs.u-ryukyu.ac.jp

醫學院

醫學研究科

E-mail: igznyusen@acs.u-ryukyu.ac.jp

醫學研究科

E-mail: igznyusen@acs.u-ryukyu.ac.jp

農學院 農學研究科

鹿兒島大學研究院聯合農學所

E-mail: nggakmu@acs.u-ryukyu.ac.jp

學生部招生課

E-mail: nsnsd1@acs.u-ryukyu.ac.jp

本学に関する情報は、下記をご覧ください。

琉球大学ホームページ：<http://www.u-ryukyu.ac.jp/>

国際教育課 ホームページ：<https://ges.skr.u-ryukyu.ac.jp/>

人文社会学部 人文社会科学研究所

E-mail: hbgakmu@acs.u-ryukyu.ac.jp

国際地域創造学部 地域共創研究科

E-mail: ktgakumu@acs.u-ryukyu.ac.jp

法科大学院（大学院 法務研究科）

E-mail: hbhkdak@acs.u-ryukyu.ac.jp

理学部 理工学研究科（理学系）

E-mail: rggakmu@acs.u-ryukyu.ac.jp

工学部 理工学研究科（工学系）

E-mail: kggakmu@acs.u-ryukyu.ac.jp

学生部 国際教育課

E-mail: kogakuko@acs.u-ryukyu.ac.jp

教育学部 教育学研究科

E-mail: kigakmu@acs.u-ryukyu.ac.jp

医学部 医学研究科

E-mail: igznyusen@acs.u-ryukyu.ac.jp

保健学研究科

E-mail: igznyusen@acs.u-ryukyu.ac.jp

農学部 農学研究科

鹿兒島大学大学院連合農学研究科

E-mail: nggakmu@acs.u-ryukyu.ac.jp

学生部 入試課

E-mail: nsnsd1@acs.u-ryukyu.ac.jp

Island wisdom,
for the world,
for the future.

